

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年3月9日

## 【評価実施概要】

事業所番号	"0175100288
法人名	有限会社 なごみ
事業所名	グループホーム ライフィン・なごみ
所在地	紋別市落石町3丁目42番地の5 (電話) 0158-26-2753

評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成21年2月27日

## 【情報提供票より】(20年12月26日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 13 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤 4 人, 非常勤 13 人, 常勤換算 4 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り
	4階建ての 3階 ~ 4階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	21,000~27,400 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	円
または1日当たり				

### (4) 利用者の概要(12月26日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 84.8歳	最低	74歳	最高	95歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	白松メディカルクリニック・さいとう歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ライフィンなごみは、大学生用のアパートを改修した鉄骨造4階建てで1階がグループホームの事務室兼多目的ホール、3・4階を1ユニットずつ使用しています。1階の多目的ホールにはお雛様が飾られ、ソファやカラオケセットが置かれ利用者が好きなときに集える場所となっています。敷地内には畑を有しており、かぼちゃ・芋・トマト・とうきび・さやえんどう等を利用者と職員で一緒に育て楽しんでます。天気の良い日には、興部までドライブに出かけソフトクリームや、回転寿司を食したりしています。またホーム通信『なごみ通信』の題字を毎月交代で利用者が書いています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価における課題について、改善に向け計画をたてており、地域とのつきあいとして市主催の老人クラブ『ひまわりクラブ』に参加したり地域の博物館に積極的に出掛けています。また災害対策の改善として社長・施設長が防火管理者講習を受講するなどしています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の取組みは、職員ひとり一人が自己評価を行ったものをユニットリーダーと管理者が纏め作成しています。職員、管理者は自己評価・外部評価の意義を理解しており、サービスの質の向上に向け取り組んでいます。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>今年度は12月に開催されました。市役所職員、、地域住民代表、他グループホーム管理者、利用者代表、施設長、管理者等で構成され、活動状況・取組課題の結果報告や今後の課題取組みについて等話し合われています。議事録も作成されています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月請求書と一緒に、ホームでの生活の写真をたくさん載せた『なごみ通信』と、金銭出納帳のコピーを送っています。家族来訪時には、利用者の暮らしぶりや健康状態等について報告し、家族が意見・要望を話し易い雰囲気作りを心掛け、利用者に変化等があった場合には随時電話連絡もしています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入していましたが、今まで事業所対応ということで回覧板が廻ってきませんでした。今回町内会と話し合い今月より回覧されることになり今後町内会行事に積極的に参加出来る様になりました。近隣住民と日常的に挨拶を交わし、野菜の苗や野菜を頂いたり、除雪をしていただく等の交流があります。また、合唱団のボランティアや中学生の職場体験も受け入れています。</p>

(有)NAVIRE

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「あたたかい手を差しのべる仲間ともに笑い悩み感動できる家族、いつもそこに温もりがある」という理念を掲げ意識しながら取り組んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ユニットごとのミーティングの際、職員同士のコミュニケーションを取りながら日々の実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、回覧板は廻ってきます。ボランティアの紋別混声合唱団が1階ロビーで披露したり、潮見中学校3年生の体験学習も受入れて地域に理解を深める努力をしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員に自己評価表を記入してもらいユニット会議の時にユニットリーダーと管理者で取りまとめ、再確認して日々のケアに取り組んでいます。	○	外部評価の改善項目については会議の中で取組む姿勢が見られますが、改善には至ってなく職員と管理者含め取組む事を期待します。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1年以上開催されていませんが、昨年12月に開催しています。同業他社の運営推進会議に出席し意見交換をして自社会議の向上に繋げる工夫が見られます。	○	今後概ね2ヶ月ごとの定期的に、運営推進会議の開催に取組み理解を深める事を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>紋別市役所福祉課、紋別保健所、保健福祉事務所等に指導相談を行なっています。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月利用者の日常生活や行事での写真を載せた「なごみ通信」を発行し、金銭出納についても家族に送付しています。受診結果について電話や面会時に報告をしています。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や電話で家族が意見や苦情・相談をしてもらえ様、職員及び管理者はコミュニケーションをとる姿勢が見られます。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職がありましたが、市と連携し補充がなされ、利用者のダメージを抑える配慮をしています。</p>	○	<p>職員の雇用確保及びコミュニケーションを図り、離職を少なくする工夫を図ることを期待します。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や保健所及び保険福祉事務所主催の研修に参加し報告書にまとめユニット会議で報告をしています。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は同業他社の運営推進会議に出席して、意見交換をしたり、職員や管理者が、グループホーム協議会に出席して交流を図っています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホーム見学や家族への説明と聞き取りをして、利用者が馴染めるよう配慮し工夫をしています。やむをえずに直ぐ利用の場合であっても、家族や関係者に聞き取りをしてサービスを提供しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を人生の先輩と考え、お互いを認め合い、会話や表情を通して学んだり支えあう関係が築かれています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	おやつや食事や入浴、散歩や買物等の外出の希望があれば取り入れて生活が出来る様、利用者本位の支援をしています。		
を					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	基本的に3ヶ月ごとに利用者の現在の状況を計画作成担当者が中心となって職員全体の意見をまとめ、機能の維持向上を心掛けています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者に応じて概ね1～3ヶ月ごとに介護計画を見直ししており、その都度状況に変化があった場合は、随時見直しをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への通院介助や送迎支援および散歩や買物などの外出支援を行っています。美容室に出掛ける利用者も支援しています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	グループホーム協力病院やかかりつけ医院への通院や受診には、職員が同行して健康状態を把握しています。かかりつけ医以外の往診も行なっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期の対応に向けて、方針を検討しています。	○	ターミナルケアに向けて、医療・看護・家族・ホーム側で連携し取り組むことで方針を共有することを期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の日常介護記録の記入は、見守りながら居間・食堂で行い、言葉掛けや見守りにも注意を払っています。	○	記録の保管は、管理出来るロッカー等に保管して個人情報の取り扱いに注意することを望みます。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日のスケジュールは決まっていますが、利用者の気持ちを尊重し、生活リズムに合わせて柔軟な対応を取る様心掛けています。	○	ホーム側の都合に合せず、利用者のペース・希望に沿って過ごす支援を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは外注によって決めています。きざみ食やおかゆまで利用者ごとに合わせて工夫し、月に1・2度自由献立の日として好きなメニューの支援をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に2回の入浴を支援しており、入浴時間と入浴曜日は決まっています。健康状態やタイミングに合わせた入浴を支援しています。	○	その週に入浴出来なければ、次週まで待たなければならないような事が無いよう、利用者の希望に沿って支援する事を望みます。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器洗いや茶碗拭き・洗濯物のタタミなどの家事から塗り絵や編み物、歌を歌ったり畑の世話まで出来る事の支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	花やお菓子の買物支援や散歩、自宅ヘドライブなどの外出支援を行なっています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	危険を回避する為、家族の了解を得てエレベーター前ユニット内側引き戸に簡易的な鍵はつけいます。玄関自体には、夜間以外施錠していません。居室には鍵を掛けない支援をしています。外出したい様子が見られた場合は、一緒に外出する支援を実践しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルは作成していますが、避難訓練及び消火訓練は行なわれていません。	○	防火管理者講習を施設長と法人社長は受けています。消防署に避難訓練計画書を提出して、年2回の避難訓練(夏と冬場)(日中と夜間想定)の実施を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分摂取量は1300～1500cc程度を目安にしており、介護日誌に記録し共有しています。一人ひとりの状況に応じ食べやすい大きさや硬さに注意して支援をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間・食堂の窓は南面に大きく取りカーテンで光の量を調節したり、居間や廊下に行事での写真、雛人形を飾り季節を感じる工夫を取り入れています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	6帖程の大きさの部屋に今まで使っていた家具やカーペット等を持ち込んで、変わらない生活空間を作り出しています。		